

平成 30 年度

6 月補正予算の主な事業説明書

諫 早 市

目 次

※第2次諫早市総合計画の政策・施策体系にもとづき整理したもの。

【 】書は、政策・施策体系図の「基本目標」、◎印は「基本政策」

ページ

【輝くひとづくり】

◎健やかなひとづくり

保育環境整備支援事業…………… 1

【活力あるしごとづくり】

◎地域特性を活かした農林水産業

園芸ハウス整備推進事業…………… 2

漁業担い手確保育成事業《新規》…………… 3

有喜地区増殖場整備事業…………… 4

◎活力あふれる商工業の振興と雇用の創出

新産業団地整備事業…………… 5

新産業団地関連道路整備事業《新規》…………… 6

【魅力あるまちづくり】

◎快適なまちづくり

コミュニティ助成事業…………… 7

道路橋りょう整備事業…………… 8

諫早駅周辺整備事業…………… 9

県営事業市負担金一覧表…………… 10～11

保育環境整備支援事業

総合計画の位置付け

【輝くひとづくり】 ◎健やかなひとづくり

これまでの経緯及び目的

昨今の社会福祉施設における凶行事件により社会的に不安が広がっている中、教育・保育施設の防犯対策を強化するため、門扉・フェンス等の必要な安全対策に要する費用の補助を行い、教育・保育施設の安全性を高め、安心して利用できる環境整備を図る。

事業概要

- 《事業主体》 学校法人西諫早学園
《事業期間》 平成30年度
《事業内容》 ・幼稚園型認定こども園に、防犯対策強化のための門扉、
(6月補正内容) フェンス、電気錠を設置する
・総事業費 2,908千円
(防犯対策強化のための整備経費)

事業費

| | |
|--------------|---------|
| 6月補正事業費 | 2,908千円 |
| (財源内訳) 国庫支出金 | 1,939千円 |
| 一般財源 | 969千円 |

年度別事業内容

| 29年度以前 | 30年度 |
|--|------------------------------------|
| | 6月補正 |
| ○門扉・フェンス、非常通報装置、防犯カメラ、電気錠の設置 ・保育園 7施設 ・幼保連携型認定こども園 4施設 | ○門扉・フェンス、電気錠の設置 ・幼稚園型認定こども園 1施設 |

事業実施による効果

教育・保育施設の防犯対策を強化することにより、不審者侵入の抑止力となることが期待され、安全性の向上が図られる。

事業担当課

健康福祉部 こども支援課

(6款-2項-2目-子育て支援事業)

園芸ハウス整備推進事業

総合計画の位置付け

【活力あるしごとづくり】 ◎地域特性を活かした農林水産業

これまでの経緯及び目的

産地の収益性向上に意欲的に取り組む事業主体が実施する、初期の経費負担が大きい園芸施設整備に対し支援を行い、高付加価値型農業の拡大を図る。

事業概要

- 《事業主体》 株式会社後田花園 外9事業主体
 《事業期間》 平成30年度
 《事業内容》 ・園芸ハウス建設
 低コスト耐候性ハウス（ガーベラ他3品目） 8棟 0.93ha
 連棟補強Ⅱ型ハウス（きゅうり） 1棟 0.08ha
 連棟補強APハウス（にがうり） 2棟 0.24ha
 ・ミニトマト炭酸ガス発生装置 13台
 ・ミニトマト環境測定機器 4台
 ・場所 諫早（長田、本野）、森山、飯盛、高来

事業費

当初予算事業費 9,274千円

6月補正事業費 212,733千円

(財源内訳) 県支出金 181,877千円

一般財源 30,856千円

年度別事業内容

| 29年度以前 | 30年度 | | 31年度以降 |
|---|-----------------|--|--------|
| | 当初 | 6月補正 | |
| (平成28年度) アスパラガス・ラナン キュラス・ミニトマト・ きゅうりハウス新設、い ちご・ミニトマトハウス 補修・補強、いちご夜冷 施設、ミニトマト自動開 閉装置導入等 (平成29年度) アスパラガス・きゅう り・ミニトマト・ガーベ ラ、キャベツ育苗ハウス 新設、アスパラガス・ きゅうりハウス補強・補 修 | ほうれんそうハウス新 設 | ガーベラ・ミニトマ ト・カーネーション・ 草花・きゅうり・にが うりハウス新設、ミニ トマト炭酸ガス発生装 置、ミニトマト環境測 定機器 | 継続して実施 |

事業実施による効果

本事業で低コスト耐候性ハウス等を導入することで経営規模の拡大が図られる。また、炭酸ガス発生装置や環境制御測定機器の導入により収量及び品質が向上し、もって産地の持続的発展と生産者の所得向上が図られる。

事業担当課

農林水産部 農業振興課

(8款-3項-2目-園芸振興事業)

漁業担い手確保育成事業 《新規》

総合計画の位置付け

【活力あるしごとづくり】 ◎地域特性を活かした農林水産業

これまでの経緯及び目的

漁業者の減少と高齢化が進行し、今後の持続的な漁業生産や漁村活力の低下が懸念されており、新規漁業就業者の確保育成は喫緊の課題となっている。平成29年12月、新規漁業就業者の確保育成を図ることを目的に、市、県及び市内漁協で組織した「諫早市漁業担い手確保推進協議会」を設立し、各種方策を実施することで漁村活力の向上を図る。

事業概要

- 《事業主体》 諫早市
- 《事業期間》 平成30年度～
- 《事業内容》 漁業就業実践研修事業の実施
 - ・漁業技術習得の研修を受講する者（研修生）に対する生活費等の支援
生活費 125千円/月（支給限度額）
その他研修受講に必要な経費 50千円/年（支給限度額）
 - ・指導者に対する謝金支給
1,800千円/年（支給限度額）

事業費

| | |
|-------------|---------|
| 6月補正事業費 | 4,950千円 |
| (財源内訳) 県支出金 | 2,475千円 |
| 一般財源 | 2,475千円 |

年度別事業内容

| 30年度 | 31年度以降 |
|--------------|--------------------------------------|
| 6月補正 | |
| ・漁業就業実践研修の実施 | ・諫早市漁業担い手確保推進協議会の意見を聞きながら漁業就業実践研修を実施 |

事業実施による効果

新規漁業就業者の確保育成により漁村活力の向上が図られる。

事業担当課

農林水産部 林務水産課

有喜地区増殖場整備事業

総合計画の位置付け

【活力あるしごとづくり】 ◎地域特性を活かした農林水産業

これまでの経緯及び目的

橘湾に面する有喜地区では、これまでに魚礁や藻場礁の整備をしてきたところであるが、近年は漁場環境の変化等による水揚量の減少にあわせて、漁業者数が著しく減少している。このような状況にあることから、地元漁協から要望があった自然石投入による増殖場を整備することで、沿岸性魚介類の成育に適した環境を造成し、水産資源の増大と水揚量の増加を図る。

事業概要

- 《 事業主体 》 諫早市
- 《 事業期間 》 平成30年度～平成32年度
- 《 事業内容 》 増殖場整備 A=0.64ha
 - ・測量及び試験費 一式
 - ・本工事費 自然石投入 V=5,760m³
 - ・効果調査 一式

事業費

| | |
|-------------|-----------|
| 総事業費 | 120,100千円 |
| 当初予算事業費 | 7,200千円 |
| 6月補正事業費 | 41,400千円 |
| (財源内訳) 県支出金 | |
| | 32,960千円 |
| | 地方債 |
| | 7,500千円 |
| | 一般財源 |
| | 940千円 |

年度別事業内容

| 30年度 | | 31年度以降 |
|------------------------------|---|---|
| 当初予算 | 6月補正 | |
| ・測量及び試験費 測量・調査・設計業務 一式 | ・本工事費 自然石投入 V=2,170m ³ | ・本工事費 自然石投入 V=3,590m ³ ・効果調査 一式 |

事業実施による効果

水産資源の増大と水揚量の増加が図られる。

事業担当課

農林水産部 林務水産課

新産業団地整備事業

総合計画の位置付け

【活力あるしごとづくり】 ◎活力あふれる商工業の振興と雇用の創出

これまでの経緯及び目的

平成27年度に新産業団地の候補地として小栗地区の調査を開始し、翌年度、適地との判断に達した。平成29年度からは本格的に事業に着手し、分譲地20haを一括して整備する計画であったが、より迅速な分譲開始を目的に、2期に分けて整備しようとするもの。

このため、事業主体となる諫早市土地開発公社へ支援を行い、新産業団地の整備による新たな雇用の場の創出と地域経済の活性化を図る。

事業概要

- 《事業主体》 諫早市土地開発公社
- 《事業期間》 平成29年度～平成33年度
- 《事業内容》 新産業団地整備事業を実施する諫早市土地開発公社に対して補助を行う。
 - ・整備地区 小栗地区（平山町、栗面町、小ヶ倉町の各一部）
 - ・分譲面積 約20ha

事業費

| | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 総事業費 | 約5,600,000千円 | (公社負担分含む) |
| 当初予算事業費 | 78,955千円 | |
| 6月補正事業費 | 598,612千円 | |
| (財源内訳) | | |
| 県支出金 | 295,630千円 | |
| その他 | 300,000千円 | (まちづくり未来基金繰入金) |
| 一般財源 | 2,982千円 | |
| H31～33債務負担行為 | 2,146,192千円 | |

年度別事業内容

| 29年度 | 30年度 | | 31年度以降 |
|---|--|--|---|
| | 当初予算 | 6月補正 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計書作成 ・事前調査 ・H30年度からH33年度分の市から土地開発公社への補助金に係る債務負担行為 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計書作成 ・事前調査 ・用地取得 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査 ・造成工事 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事 等 (債務負担行為) |

事業実施による効果

新産業団地を整備し企業誘致を推進することにより、雇用の場の創出による若者等の市外への流出防止と地域経済の活性化が図られる。

事業担当課

商工振興部 産業誘致課

(9款-3項-1目-新産業団地整備事業)

新産業団地関連道路整備事業<<新規>>

総合計画の位置付け

【活力あるしごとづくり】 ◎活力あふれる商工業の振興と雇用の創出

これまでの経緯及び目的

諫早市土地開発公社が小栗地区で整備を進めている「新産業団地」と地域高規格道路「島原道路」栗面ICを結ぶアクセス道路を整備することにより、物流ネットワークの構築を図り、雇用の場の創出や地域経済の活性化に寄与するもの。

事業概要

- 《事業主体》 諫早市
- 《事業期間》 平成30年度～平成33年度
- 《事業内容》 新産業団地関連道路整備
 - ・市道栗面小ヶ倉線外1線（拡幅改良）
 - 延長L=1,300m、W=10m

事業費

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|----------------|--------------|----------|--|-----|----------|--|-----|---------|----------------|------|-------|--|
| 6月補正事業費 | 61,000千円 | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">(財源内訳) 国庫支出金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">33,000千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td style="text-align: right;">25,200千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2,000千円</td> <td style="text-align: right;">(まちづくり未来基金繰入金)</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">800千円</td> <td></td> </tr> </table> | | | (財源内訳) 国庫支出金 | 33,000千円 | | 地方債 | 25,200千円 | | その他 | 2,000千円 | (まちづくり未来基金繰入金) | 一般財源 | 800千円 | |
| (財源内訳) 国庫支出金 | 33,000千円 | | | | | | | | | | | | | |
| 地方債 | 25,200千円 | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2,000千円 | (まちづくり未来基金繰入金) | | | | | | | | | | | | |
| 一般財源 | 800千円 | | | | | | | | | | | | | |

年度別事業内容

| 平成30年度 | 平成31年度以降 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 ・補償調査 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・用地購入 ・物件補償 ・改良工事 等 |

事業実施による効果

物流・運搬・通勤等に利用される主要アクセス道路の安全性や走行性の向上が図られる。
また、地域高規格道路「島原道路」と連携し広域的な物流ネットワークが構築されることにより、本市の産業競争力の強化が図られる。

事業担当課

建設部 道路課

(10款-2項-4目-道路橋りょう整備事業)

コミュニティ助成事業

総合計画の位置付け

【魅力あるまちづくり】 ◎快適なまちづくり

これまでの経緯及び目的

コミュニティ活動に必要な設備整備及び地域伝統文化への支援を行うことにより、住民の自主的なコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指す。

事業概要

- 《事業主体》 諫早天満太鼓保存会、諫早市
 《事業期間》 平成30年度
 《事業内容》 次の2事業に対し、一般財団法人自治総合センターが実施する、コミュニティ助成事業を活用し、住民のコミュニティ活動への支援を行う。
 ○諫早天満太鼓保存会による和太鼓の整備
 総事業費2,558千円（うち助成金2,500千円）
 ○諫早市による音響設備の購入
 総事業費1,800千円（うち助成金1,800千円）

事業費

| | | |
|------------|---------|-----------------|
| 6月補正事業費 | 4,300千円 | |
| (財源内訳) その他 | 4,300千円 | (コミュニティ助成事業助成金) |

年度別事業内容

| | 30年度 |
|---|---|
| 29年度以前 | 6月補正 |
| 平成29年度 ○江ノ浦子供ペーロン愛好会 ・ペーロン船等の整備 ○森山町郷土芸能保存連絡協議会 ・和太鼓の整備 ○小船越町自治会 ・音響設備の整備 | ○諫早天満太鼓保存会 ・和太鼓の整備（6台） ○諫早市 ・音響設備の購入（2セット） |

事業実施による効果

和太鼓の整備により、地域の伝統文化の保存・継承と地域活性化が図られる。
 市が貸出用の音響設備を購入し、自治会が行うイベント等に活用することで、自治活動と地域コミュニティの活性化が図られる。

事業担当課

政策振興部 地域づくり推進課

(3款-4項-1目-まちづくり推進事務)

道路橋りょう整備事業

総合計画の位置付け

【魅力あるまちづくり】 ◎安全なまちづくり、快適なまちづくり

これまでの経緯及び目的

幹線道路及び地域に密着した道路の整備を行うことで、地域間の均衡ある発展と地域経済の活性化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。

事業概要

《事業主体》 諫早市

《事業内容》 ・幹線道路及び地域に密着した市道の維持補修、改良、交通安全施設整備
 ・都市計画道路の整備

| 事業名 | 30年度事業内容 | |
|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| | 当初予算 | 6月補正 |
| ○道路橋りょう維持事業（市道の維持管理） | | |
| ・側溝整備事業 | 側溝整備工事 (久山山口線外5箇所) | — |
| ・舗装整備事業 | 舗装整備工事 (六丁分線外7箇所) | — |
| ・橋りょう補修事業 | 補修設計（釜橋外2橋） 受託工事（永昌東跨線橋） | 補修工事（永昌東跨線橋） |
| ○通学路安全対策事業（市道の交通安全対策） | | |
| ・通学路安全対策事業 | 通学路の歩道整備 (厚生町仲沖線外4箇所) | 通学路の歩道整備 (山川町1号線外4線外3箇所) |
| ○道路橋りょう整備事業（幹線道路や地域に密着した市道の改良整備） | | |
| ・道路改良事業 | 地域に密着した市道の拡幅改良 (百石中通線外16箇所) | — |
| ・上宇戸橋公園線道路改良事業 | 中心市街地の幹線道路の拡幅改良 (用地取得、建物補償外) | — |
| ・新産業団地関連道路整備事業(再掲) | — | 測量設計・補償調査 (栗面小ヶ倉線外1線) |
| ○新設改良事業（都市計画道路の整備） | | |
| ・堀の内西栄田線新設改良事業 | 新設改良 (用地取得、建物補償外) | — |

事業費

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------|----------------|--------------|------------|--|-----|------------|--|-----|----------|--|------|-----------|--|
| 当初予算事業費 | 1,048,135 千円 | | | | | | | | | | | | | |
| 6月補正事業費 | 423,715 千円 | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">(財源内訳) 国庫支出金</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">232,493 千円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td style="text-align: right;">170,400 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">2,000 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">18,822 千円</td> <td></td> </tr> </table> | | | (財源内訳) 国庫支出金 | 232,493 千円 | | 地方債 | 170,400 千円 | | その他 | 2,000 千円 | | 一般財源 | 18,822 千円 | |
| (財源内訳) 国庫支出金 | 232,493 千円 | | | | | | | | | | | | | |
| 地方債 | 170,400 千円 | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2,000 千円 | | | | | | | | | | | | | |
| 一般財源 | 18,822 千円 | | | | | | | | | | | | | |
| | | (まちづくり未来基金繰入金) | | | | | | | | | | | | |

事業実施による効果

地域に密着した市道の整備により、市民の日常生活における安全性や快適性の向上が図られる。また、幹線道路や都市計画道路の整備により、国・県道と連携した道路交通ネットワークの構築が図られ、地域経済の活性化及び利便性の向上が図られる。

事業担当課

建設部 道路課

(10款-2項-2目-道路橋りょう維持事業)
 (10款-2項-3目-通学路安全対策事業)
 (10款-2項-4目-道路橋りょう整備事業)
 (10款-2項-5目-新設改良事業)

諫早駅周辺整備事業

総合計画の位置付け

【魅力あるまちづくり】 ◎快適なまちづくり

これまでの経緯及び目的

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の平成34年度の開業にあわせ、広域交通拠点である諫早駅周辺の整備を実施し、駅前地区の活性化を図り、魅力あるまちづくりを推進する。

事業概要

- 《事業主体》 諫早市
- 《事業期間》 平成20年度～平成34年度
- 《事業内容》
 - ・諫早駅東地区第二種市街地再開発事業（A=1.9ha）
再開発ビル（Ⅰ棟、Ⅱ棟）、都市計画道路（L=260m）
公共交通広場（A=4,200㎡）、一般交通広場（A=1,600㎡）
 - ・諫早駅自由通路・多目的床整備（W=8m, 10m）
 - ・駅西交通広場（A=4,800㎡）
 - ・市道諫早停車場線（L=200m）
 - ・市道永昌東栄田線（L=450m）

事業費

| | |
|---------------|--------------|
| 当初予算事業費 | 863,000 千円 |
| 6月補正事業費 | 1,794,000 千円 |
| (財源内訳) 国庫支出金 | |
| | 229,562 千円 |
| | 県支出金 |
| | 60,705 千円 |
| | 地方債 |
| | 842,200 千円 |
| | その他 |
| | 442,473 千円 |
| | 一般財源 |
| | 219,060 千円 |
| H31～H32債務負担行為 | |
| | 1,780,462 千円 |

(まちづくり未来基金繰入金等)

年度別事業内容

| 29年度以前 | 30年度 | | 31年度以降 |
|---|--|--|--|
| | 当初予算 | 6月補正 | |
| ・諫早駅自由通路外建設工事委託 ・再開発ビルⅠ棟建設工事、工事監理 ・駅東、駅西交通広場用地取得、建物補償 ・敷地整地工事 ・市道永昌東栄田線測量設計、用地取得等 | ・再開発ビルⅠ棟建設工事、工事監理 ・再開発事業建物除却工事 ・再開発敷地用地取得 ・駅西交通広場水路工事 ・関連道路整備工事等 | ・再開発ビルⅠ棟建設工事、工事監理 ・再開発ビルⅡ棟建設工事、工事監理費補助 ・駅東交通広場用地取得、建物補償 ・市道諫早駅地下道線閉鎖工事等 | ・用地取得、建物移転補償 ・再開発ビルⅠ棟建設工事 ・再開発ビルⅡ棟建設工事 ・各都市施設の整備 ・関連道路整備工事 |

事業実施による効果

広域的な高速鉄道網である新幹線の開業を契機とした諫早駅及びその周辺の都市機能の強化を図ることにより、市勢の将来的な振興と発展が見込まれる。

事業担当課

建設部 駅周辺再開発課

(10款-7項-1目-市街地再開発事業)

県営事業市負担金一覧表

1 農林水産関係

(1) 圃場整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|-----------------------|--------|-------|---------------|---------------|
| 県営圃場整備事業 (宇良田井原地区) | 64,028 | 5,763 | 継続 H26～H31 | 用水路工、客土工、測量設計 |

(2) 畑地帯総合整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|-------------------------|---------|--------|---------------|---------------|
| 県営畑地帯総合整備事業 (有喜南部地区) | 100,000 | 10,500 | 継続 H26～H32 | 附帯工、測量設計、換地業務 |
| 県営畑地帯総合整備事業 (正久寺地区) | 33,700 | 4,129 | 継続 H29～34 | 測量設計、換地業務 |

(3) 農道整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|----------------------------|---------|--------|---------------|-------------------|
| 県営基幹農道整備事業 (多良見伊木力第3地区) | 110,100 | 11,010 | 継続 H25～H33 | 道路工、舗装工、用地補償、測量設計 |

(4) 排水対策特別事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|----------------------|---------|--------|---------------|----------------|
| 県営排水対策特別事業 (田尻地区) | 379,596 | 91,578 | 継続 H22～H31 | 排水路工、測量設計、用地補償 |

(5) 農村地域防災減災事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|---------------------------------|--------|-------|---------------|-------------------------|
| 県営農村地域防災減災事業 (兵糧谷ため池、西出口ため池) | 62,000 | 9,920 | 継続 H28～H32 | 堤体工、取水施設工、洪水吐工、用地補償、附帯工 |

(6) 水利施設整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|-----------------------|-------|-------|---------------|--------|
| 県営水利施設整備事業 (小ヶ倉ダム) | 9,797 | 2,450 | 継続 H27～H31 | 洪水吐補修工 |

(7) 畑地かんがい調査事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|------------------------|-------|-------|---------------|----------------|
| 県営畑地かんがい調査事業 (後田地区) | 5,500 | 1,650 | 継続 H29～H30 | 事業計画書作成、水源電磁探査 |

(8) 水産環境整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|-------------------------|---------|------|---------------|---------------------------|
| 県営水産環境整備事業 (有明海海底耕耘) | 132,106 | 515 | 継続 H26～H30 | 海底耕耘 力キ殻散布 モニタリング調査 |
| 県営水産環境整備事業 (橘湾海底清掃) | 12,000 | 55 | 継続 H29～H33 | 堆積物除去 |

(9) 漁港関連道整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|-----------------------|--------|-------|--------------|--------------------|
| 県営漁港関連道整備事業 (有喜漁港) | 70,200 | 5,850 | 継続 H8～H30 | 擁壁工、土工、舗装工、落石防護柵設置 |

(10) 漁港施設整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|----------------------|-------|------|-----------|-------|
| 県営漁港施設整備事業 (有喜漁港) | 2,800 | 350 | 継続 H30 | 車止め整備 |

※農林水産関係合計 事業費 981,827千円 市負担金 143,770千円

2 建設関係

(1) 道路改良事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|--------------------------|---------|--------|---------------|---------|
| 県営道路改良事業 (国道207号外5箇所) | 262,000 | 38,800 | 継続 H25～H32 | 道路改良工事等 |

(2) 海岸保全施設整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|------------------------------|--------|-------|-----------|--------------|
| 県営海岸保全施設整備事業 (小長井港海岸外1箇所) | 25,200 | 1,764 | 継続 H30 | 開口部対策、自然災害防止 |

(3) 港湾整備事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|--------------------|--------|-------|---------------|-------|
| 県営港湾整備事業 (小長井港) | 30,000 | 5,000 | 継続 H21～H32 | 船揚場改良 |

(4) 急傾斜地崩壊対策事業

(単位：千円)

| 事業名 | 事業費 | 市負担金 | 事業期間 | 施行内容 |
|--------------------------------|---------|--------|---------------|------|
| 県営急傾斜地崩壊対策事業 (岩ノ口(2)地区外1地区) | 130,000 | 20,000 | 継続 H24～H31 | 法面工 |

※建設関係合計 事業費447,200千円 市負担金 65,564千円

3 平成30年度 県営事業市負担金合計

(単位：千円)

| 項目 | 事業費合計(A) | 市負担金合計(B) | (A) / (B) |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 農林水産関係計 | 981,827 | 143,770 | 6.83 |
| 建設関係計 | 447,200 | 65,564 | 6.82 |
| 合計 | 1,429,027 | 209,334 | 6.83 |